

新たな特産品開発 2種類の試作品完成

原材料に地場産品を使用した『神の國カレー』と『鯨の切込み』の試作品が完成しました。この取組は上ノ国町・江差町地域創生協議会が「いきいきふるさと推進事業」を活用し、町内有志で組織する「ゆいっこ倶楽部」の協力を得て地域活性化を目的に企画・立案されたものです。

カレーには有森農場（字桂岡）の豚肉と上ノ国町産メークイン、鯨は江差町産を使用しています。今後はモニタリング調査を実施し、商品化に繋げていきたいとのこと。



悪いもの追い払う 両保育所で豆まき

2月2日、上ノ国・河北、それぞれの保育所で節分の集いが行われ、園児たちが「悪いもの」を追い払うため、保育所内で豆まきをしました。

豆まきの途中、職員がふんする鬼が登場し、「悪い子はいないか」と園児たちを驚かせました。

怖い鬼たちを見て、園児の中には泣いてしまう子もいましたが、園児たちは元氣よく豆をぶつけ、自分の中の「弱虫鬼」を退治することができたようです。

園児たちは節分を通じて善悪を学び、少し成長した様子でした。



エビかご漁、 コロナ禍にも負けず

上ノ国町沖合でのエビかご漁が、1月上旬から始まっています。

ひやま漁業協同組合上ノ国支所の方にお話を伺ったところ、「新型コロナウイルス感染症による航空便の減便など不利な状況ではあるものの、船便を利用するなど、従来とは違ったルートも利用して東京都の豊洲市場に出荷しており、2月15日現在の漁獲量や市場価格は昨年とほぼ同様」とのことでした。

4月上旬まで漁場を移動しながら続くエビかご漁ですが、今後の豊漁が期待されます。



放課後児童クラブで 交通安全教室

1月19日、子ども支援センターで学童保育に通っている児童を対象とした交通安全教室が開催されました。

交通安全教室は江差警察署が主催したもので、同警察署の交通課から菊地仁希交通課長と坂岡菜摘巡査が来訪し、クイズや交通安全教材を使用して、道路の通行方法などを指導していました。

子どもたちはクイズや質問に元氣よく答え、「道路が凍ると車が止まらなくなる」ことを知り、楽しく交差点や冬道に潜む危険について学ぶ事ができたようです。

